

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【公開番号】特開 2015-37313 (P2015-37313A)
 【公開日】平成 27 年 2 月 23 日 (2015.2.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-012
 【出願番号】特願 2014-41610 (P2014-41610)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)
 B 4 1 J 29/42 (2006.01)
 B 4 1 J 29/38 (2006.01)
 G 0 6 F 3/12 (2006.01)
 G 0 6 F 3/048 (2013.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C
 B 4 1 J 29/42 F
 B 4 1 J 29/38 Z
 G 0 6 F 3/12 C
 G 0 6 F 3/048 6 5 1 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 7 月 29 日 (2016.7.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

画像データに関する処理が関連付けられ選択されることで関連付けられた当該処理が開始される処理選択部を表示する表示手段と、

前記表示手段に表示される前記処理選択部が選択された場合に、表示画面に当該処理選択部に関連する情報を表示させ、且つ、利用者からの前記処理を実行する指示を受け付けてから当該処理を開始する第 1 の開始手段と、

前記表示手段に表示される前記処理選択部が選択された場合に、利用者からの前記処理を実行する指示を受け付けることなく当該処理を開始する第 2 の開始手段と、

前記第 1 の開始手段で開始するか前記第 2 の開始手段で開始するかの設定を利用者から受け付ける設定受付手段と
 を含む処理装置。

【請求項 2】

前記表示手段に表示される前記処理選択部として新たな処理選択部を作成する場合に、当該新たな処理選択部の機能に対応して予め定められた文字を設定する設定手段をさらに含むことを特徴とする請求項 1 記載の処理装置。

【請求項 3】

前記新たな処理選択部を作成する場合に、前記設定手段にて設定された前記文字を修正するための入力を受け付ける入力受付手段と、

前記新たな処理選択部と、前記設定手段によって設定された前記文字を前記入力受付手段が受け付けた入力に基づいて修正した修正後の文字とを対応付けて登録する登録手段とをさらに含み、

前記第１の開始手段は、前記表示手段に表示される前記新たな処理選択部が選択された場合に、前記登録手段により当該新たな処理選択部に関連付けて登録された前記修正後の文字を当該表示手段に表示させた後、利用者からの前記処理を実行する指示を受け付けてから当該処理を開始すること
を特徴とする請求項２記載の処理装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

請求項１記載の発明は、画像データに関する処理が関連付けられ選択されることで関連付けられた当該処理が開始される処理選択部を表示する表示手段と、前記表示手段に表示される前記処理選択部が選択された場合に、表示画面に当該処理選択部に関連する情報を表示させ、且つ、利用者からの前記処理を実行する指示を受け付けてから当該処理を開始する第１の開始手段と、前記表示手段に表示される前記処理選択部が選択された場合に、利用者からの前記処理を実行する指示を受け付けることなく当該処理を開始する第２の開始手段と、前記第１の開始手段で開始するか前記第２の開始手段で開始するかの設定を利用者から受け付ける設定受付手段とを含む処理装置である。

請求項２記載の発明は、前記表示手段に表示される前記処理選択部として新たな処理選択部を作成する場合に、当該新たな処理選択部の機能に対応して予め定められた文字を設定する設定手段をさらに含むことを特徴とする請求項１記載の処理装置である。

請求項３記載の発明は、前記新たな処理選択部を作成する場合に、前記設定手段にて設定された前記文字を修正するための入力を受け付ける入力受付手段と、前記新たな処理選択部と、前記設定手段によって設定された前記文字を前記入力受付手段が受け付けた入力に基づいて修正した修正後の文字とを対応付けて登録する登録手段とをさらに含み、前記第１の開始手段は、前記表示手段に表示される前記新たな処理選択部が選択された場合に、前記登録手段により当該新たな処理選択部に関連付けて登録された前記修正後の文字を当該表示手段に表示させた後、利用者からの前記処理を実行する指示を受け付けてから当該処理を開始することを特徴とする請求項２記載の処理装置である。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

請求項１記載の発明によれば、利用者が意図する処理を簡易に開始させることと利用者が意図していない処理が開始されるのを抑制することとを、選択的に実現させることができる。

請求項２記載の発明によれば、処理選択部を新たに作成する場合に、新たな処理選択部に関連して誤った情報が登録されるのを抑制することができる。

請求項３記載の発明によれば、処理選択部を新たに作成する場合に、新たな処理選択部に関連する情報を利用者の意図に応じて登録することを可能とすること、および、新たな処理選択部が選択された場合に、利用者が意図していない処理が開始されるのを抑制することができる。